

題材の目標

- (1) 形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、粘土や絵の具の生かし方などを身に付け、何かに見立てたり意図に応じて工夫したりして、制作順序を考えながら見通しをもって表している。
- (2) 造形的なよさや美しさを感じとり、主題を生み出し、全体と部分とが関係した構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。者の心情や表現意図、工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な物の特徴や美しさを基に構想を練り、意図に応じて工夫して見通しをもった表現の学習活動に取り組もうとしている。造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現意図、工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる鑑賞活動に取り組もうとしている。

標準的な展開例

【準備等】加工粘土、へら、粘土板、紙やすり、ワークシート、タブレット端末、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 立体物を鑑賞する。</p> <p>★なぜ本物に見えるのかを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループを作り、配られた立体品が本物に見える理由を考え、話し合いをする。 ○ グループでピーマンを観察し、どんな特徴があるのかをワークシートにまとめる。 ○ ワークシートにまとめた特徴を生かして、ピーマンをデッサンする。 <p>2～6 主題を決め、構想を練り、制作する。</p> <p>★本物より本物らしくつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 制作する食材を決め、アイデアスケッチを作成する。 ○ 実際に粘土に触りながら、粘土の質感や特性を生かして制作順序を考え、アイデアスケッチに記入する。 ○ 心材を入れて制作を進めたり、絵の具を練り込ませて細作を行ったりする計画を考える。 ○ 場面を生かして制作を行う。 ○ 形作りでは、全体と細部のバランスを考えるために様々な角度から見て制作を進める。 ○ 仕上げる際に、表面の彩色や質感をタブレット端末や本物を見て、確認する。 ○ 削りやすすりかけなど表現の工夫と効果を考えながらイメージした作品に近づける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 布 ・ 歯ブラシ ・ スポンジ ・ ニス ・ 爪楊枝など ○ 粘土が乾いてから塗る絵の具では、どんな道具を使って彩色するといったのかを考えて塗る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品サンプルや画像を基に、全体と部分との形や色の関係に注目をさせる。 <p>【評】造形的なよさや美しさを感じとり、見方や感じ方を広げる鑑賞活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に制作する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体と部分の形や色彩に注目をさせ、より本物らしくなる特徴を理解させる。 ・ 教科書 p 58～61 の 2 次元コードを参考に構想を考えさせる。 <p>【評】形や色彩、質感などの特徴を基に、粘土や絵の具の生かし方を考え、何かに見立てたり意図に応じて工夫したりして、制作順序を考える制作活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品をより本物らしく演出するための場面を考えさせる。 <p>【評】造形的なよさや美しさを感じとり主題を生み出し、全体と部分との関係などの構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る制作活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品をより本物らしく演出するため、表面の加工の仕方を考えさせる。 <p>【評】身近な物の特徴や美しさを基に構想を練り、意図に応じて工夫し見通しをもった表現の学習活動に取り組む制作活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に絵の具を生かして表現する活動を通して、「知識・技能」を</p>

7 鑑賞会を行う。

- ★本物そっくりに表現されたよさを感じ取り、伝え合おう。
- 級友の作品を鑑賞し、作品の特徴やよさなどの気が付いたことをワークシートに記入する。

- 制作でこだわったことや、気を付けたことをワークシートに記入する。

評価する。

- ・形や色彩などを表現するための工夫を、感想などを交えながら鑑賞させる。

【評】作者の心情や表現意図、工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる鑑賞活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【評】造形的なよさや美しさを感じとり、制作する心情や表現意図、工夫などについて振り返る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本題材は、食材などをじっくり見ることで造形的な特徴に気付いたり、特徴を自分なりに解釈したりして、自然物をもつ造形的な美しさに気付かせるものである。小学校から触れてきている粘土での制作で、見慣れている食材の形や色などの特徴を作品として造形する楽しさや形つくる喜びを感じながら、様々な道具を使って表現する力を養わせることがねらいである。